

タットン会 通信

2006. 2. 18

今年度のタットン会は、独立行政法人福祉医療機構（障害者スポーツ支援基金）からの助成金交付も受けながら活動しています。より多くの方々と共に障がいに対する理解を深めていきたいと思っています。

◎タットン会ホームページ <http://www.geocities.jp/tattonkai/>

タットン会と入力しても、検索できると思います。試してみてください。

◎日時・場所についての確認のみ → ボランティアセンター 046 (825) 0017

1月28日、今年最初（通算42回目）のタットン会は県立保健福祉大学で行なわれました。今年度は中学生・高校生・大学生等の若い方がボランティアとして参加下さり、その大切さと有り難さを実感しています。『ボランティアをやりにいこう！』とそれだけを思って参加すると、相手のことだけを思って動きも考えも堅くなり後悔してしまうことも多いものです。そうではなく、『自分も何かをつかみ、楽しんで来よう！』という気持ちで参加することにより、充実感も違ってくると感じます。先日、初参加して下さったボランティアさんのホームページを見ていたら、参加しての感想を見つけましたので、ご本人に確認の上、紹介させていただきます。



また、1月28日の夜に行われたタットン会の新年会では、今年度の反省と来年度の年間活動計画にとどまらず、色々な職種の事務局メンバーの方々から貴重なお話をうかがうことも出来ました。『もっともっと、広く深く考えていかねばならない！』と感じた有意義な新年会でした。

ある人のホームページより～

【土曜日、チョコボラをしました！】

きのう（1月28日）、「チョコボラ」（チョコっとだけけれどボランティア）をしてきました。

「[タットン会](#)」という、障がいのある子どもたちと卓球やバドミントンをする会でボランティアをしていらっしゃる方から誘われるままにチョコボラをしてきました。「タットン会」とは「卓球」の「タッ」と、「バドミントン」の「トン」で、「タットン」らしいのですが（笑）、とても気持ちのいい汗を流させてもらいました。当初はしっかりボランティアしようと思って出かけたのですが、卓球がとても強い男の子がいて、私も途中から本気になってしまい、ボランティアのほうは「ちょっとだけ」になってしまいました。ほんとうにすばらしい会でした。

現役の学校の先生が中心となって運営する月に1回の活動らしいので、ぜひまた「チョコボラ」しにいられたらいいなと思っています。みなさん、本当にありがとうございました！

（この方のホームページは <http://www.yuto.net/>です）

感想・参加者カードより

- ※1 久しぶりに参加しました（今朝は埼玉県から）。お子様と一緒に目標に取り組む事で、「できる喜び」「わかる喜び」を共に分かち合うことができました。（Mさん）
- ※2 バックからのサーブがしっかり決まり、とてもかっこよかった SM さんです。後半は動きがとても良くなり最高12回お兄さんと続けました。楽しそうな笑顔が印象的です。（Tさん）
→（2002年5月の1回目の会から参加している M さん。その時11歳だったのが今年15歳です。その頃は、風船を一生懸命追いかけていました～随分と上手になりましたね。（かず）
- ※3 (R) 君は、最初ちょっと眠くて本調子ではありませんでしたが、そんな時でも低い早めのシャトル

を打ってあげると調子が上がります。バドミントンをやりたいという意欲はいつも高く、長いこと続けても大丈夫です。(Hさん)

※5 ～ラリーは51回を達成しました。「50回やろう」というと、50回目で外に出してしまうので目標設定を5回ぐらいずつ増やすこと等を工夫しました。私もかなり上達しました～というか、教わりました。(学生Wさん) →教える事って、教わることですよ！

※6 久しぶりに親子でバドミントンをやりました。(いつもは、違うお子様の対応を下さっています)以前のように力任せに打つのではなく、コントロールショットも出来るようになったことに成長を感じました。「卓球をやる」と言ってから時間が少なく残念でした。(T・Wさん)

しょうがい児者の

進路と余暇を考える

パート 5

—地域が福祉だとみんながしあわせ—

余暇って、毎日が日曜日の人にはやってこない、大切なごほうびの日。むだに過ごすのはもったいない。自分で決めた仕事を毎日がんばってやって、やっと来る大切な日。だから、毎週タットン会があればいいのにと考える人もいることでしょう。

自分で決めた今日やりたいことを、だれと一緒にどうまくできるのか？ 誰に相談すればいいのか？分かるまでが大変だったり、時々分からなくなったり、大切な一日を決めることはとっても難しいものと思います！ボランティアに頼むの？ ヘルパー？ 気の合う友達とか恋人だったりしたら最高！

携帯電話があるから自分が聞きたいことや、言いたい相手は登録番号から探せます。

こんな時代だから、これまでよりも日頃からあらゆる場面で地域の人に理解されていることが大事だと考えています。

学校から離れて社会の人となって、みんな一人前の大人になります。そのとき、地域の人が一人の大人として支える仕組みが必要です。それは特別のことではなく、きっと昔はみんなそうやって助け合って生活してきたのだと思います。

今は、専門化した福祉施設があるので、いざという時これをシェルターとして使えば、普段は安心して地域で暮らせます。これって地域福祉！？

親離れ、子離れは、このための初めの一步。タットン会で、ボランティアの仲間とスポーツすることで、この経験を沢山積んでもらって、年をとって、みんなでいっしょにスポーツデイサービス「タットン会」に通えるまでがんばりましょう。(事務局員 大切な事担当 たか)

第43回タットン会 ～本日 2月18日の流れ 於 県立保健福祉大学

- 9:00～ 準備・受付
- 9:30 本日の説明 ペアになって、カード読み・聞き取り 自己紹介・握手をしよう！
体操(ディズニーorラジオ体操)、各種目へ (持続回数に挑戦など)
- 10:20 休憩
- 10:40～ 後半競技～(試合形式)
- 11:10頃 パラシュート！
- 11:20頃 片づけ・モップ、集合隊形
(手話コーナー)・けがの確認
- 11:40頃 解散です！



※ 一緒に楽しんで下さる事務局 ボランティアさんは、いつでも募集中です！

※ 『おもしろ教材』＝短期研修仲間を紹介してもらった、遊び感覚でできるパソコンゲームです。タットン会ホームページにリンクして貰いました。インターネットで検索して見て下さい！

※ 募金1月現在まで5791円です。有り難うございました、大切にに使わせて頂きます。タットン かず

今後のお知らせ 《4年目 2005年度の活動予定》

3月25日(第四土曜) 県立保健福祉大学決定(44回目) 4年目最後のタットン会

さて、『2006年度タットン会年間活動計画案』は別紙資料にて配布、2006.3月に決定する予定です。要望等ありましたら、事務局までお願いします。